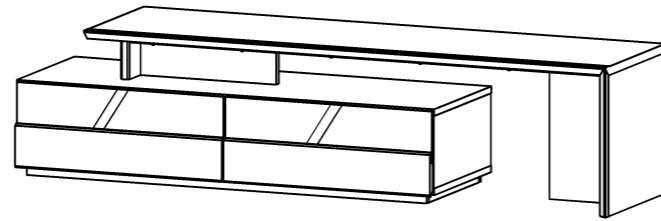
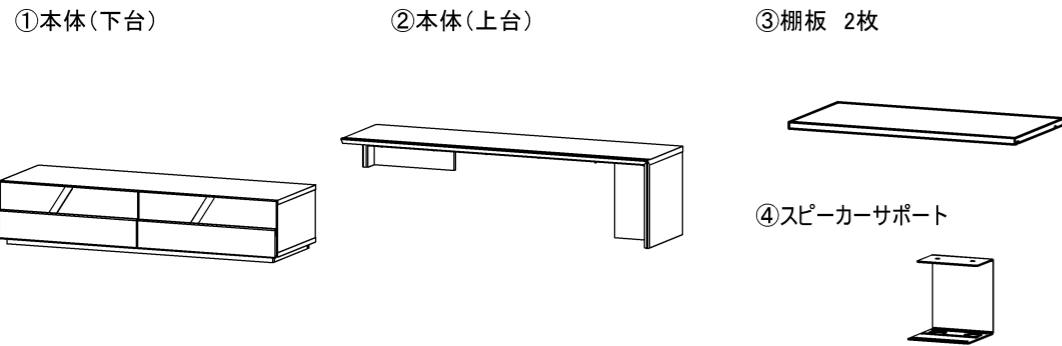


テレビラック AS-MR1500-W/-B 組立説明書



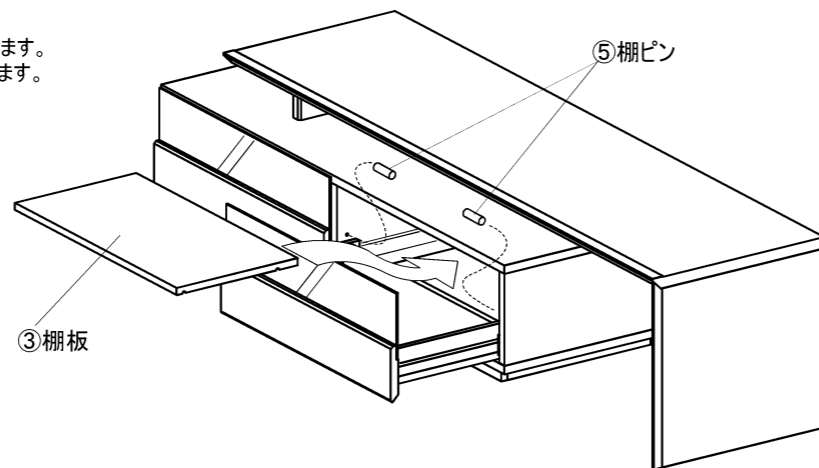
部品一覧



No.	部品図	部品名	数量
⑤		棚ピン	8
⑥		スピーカーサポート用取付けネジ	2
⑦		転倒防止ロープ	1
⑧		ワッシャー	2
⑨		転倒防止ロープ用取付けネジ	1

1 棚板の取り付け

機器収納の際は棚板1枚に4本の棚ピンを用いて棚板をセットします。棚板を取り付けない場合は、DVDソフト等を収納することができます。



【耐荷重】
天板：60kg以下
棚板：10kg以下
総耐荷重：70kg以下

*この範囲内でお使いください。

④スピーカーサポート

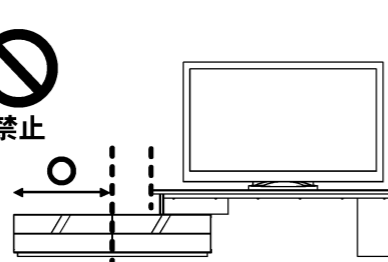
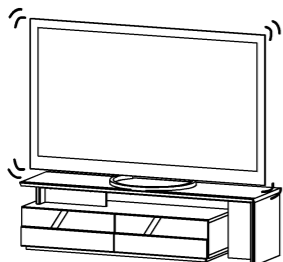


④スピーカーサポートについては、バースピーカー使用時に、バースピーカーが本体(下台)よりはみ出る際に補助としてご使用ください。詳しくは右下の説明をご確認ください。

完成

* テレビ設置の禁止項目

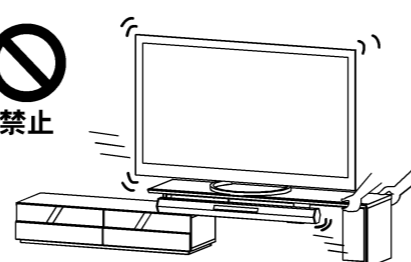
テレビは水平な場所に設置してください。傾いた状態での設置は、不安定になり破損やケガの原因となります。



本体(上台)の端が本体(下台)の中心を超えた状態での設置はおやめください。不安定になり破損やケガの原因となります。



本体を移動させる場合には、必ずテレビ等の積載物、収納機器を取り外してから移動させてください。破損やケガの原因となります。



テレビ転倒防止(前面方向)についてお願い

テレビにお子様が登場したり、揺すったり、押したりされますとテレビが前面方向に倒れるおそれがあります。その際の事故防止と地震等、非常時の安全確保のために、転倒防止を下記にもとづき実施して頂きますようお願い致します。

■取付け方法

テレビの転倒防止処置についてはテレビ付属の転倒防止用部品にて対応出来る場合もございます。テレビの取扱説明書をご参考の上、テレビ付属の転倒防止用部品かテレビ台付属の転倒防止用部品のどちらか適した方を選択しお取付けください。

【テレビの形状により下図の様にお取付けできないものもございますので、ご了承ください】

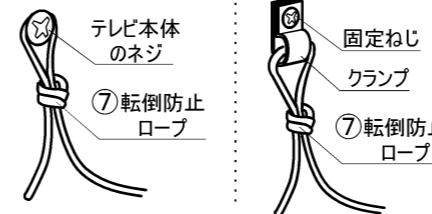


※テレビ側に固定するネジは付属していません。

手順 1

テレビ本体のねじまたは、テレビに付属されている転倒防止用具(固定ねじ・クランプ等)にロープをかけます。
※取付穴は壁掛け金具取付用ネジ穴などを使用します。

〈テレビ本体のねじの場合〉 〈クランプの場合〉



上図のようにロープを結んで取付けをします。

※必要に応じて⑧ワッシャーをご使用ください。

手順 3

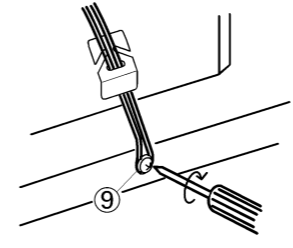
片側と同様にロープを取付けます。

重要!!

テレビ内部やコンセントに入らないようあまったロープは巻き付けるまたはテープなどで止めてください。

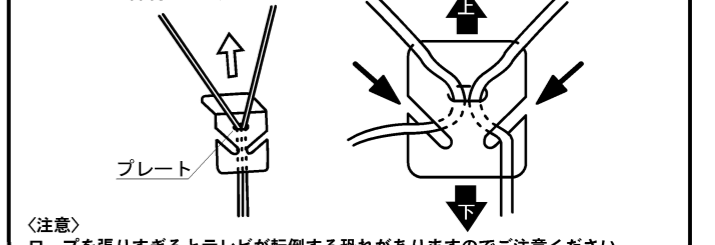
手順 2

ロープが輪になっている部分を図のように転倒防止ロープ用ネジで天板に仮固定をします。ネジは完全に締めないでください。



手順 4

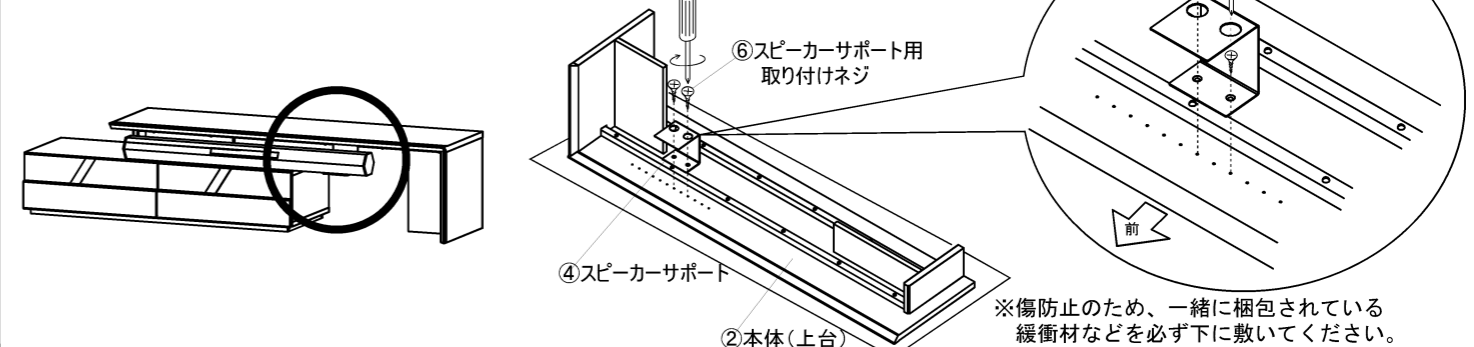
ロープがV字状に取付けが出来たらプレートを図の向きにし、上に引き上げてロープを張らせませす。ロープが張った状態でプレートのミゾにロープを引っ掛けて固定します。最後に⑨の転倒防止ロープ用ネジをしっかりと締付けてください。



〈注意〉
ロープを張りすぎるとテレビが転倒する恐れがありますのでご注意ください。

バースピーカーが本体(下台)からはみ出る際は、スピーカーサポートを設置補助として取り付けることができます。

バースピーカーの脚の位置をご確認の上、取り付けてください。





※傷防止のため、一緒に梱包されている緩衝材などを必ず下に敷いてください。

使用上のご注意

説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しく設置しお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。また、これらを保管し必要な時にお読みください。

■表示と図記号について

 **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

- **テレビやラックにぶら下がったり、上に乗ったり、寄りかかたりしないでください**
テレビが転倒したり、機器が落下したり、こわれたりしてけがの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- **振動のある場所に置かないでください**
振動でテレビが転倒したり機器が落下しけがの原因となります。
- **ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所には設置しないでください**
テレビが転倒し、けがの原因となります。水平で安定したところに据え付けてください。
- **部品を改造しないでください**
ラックの強度が保たれなくなりテレビが倒れたり、機器が落ちたりしてけがをする恐れがあります。

注意

- | | |
|---|---|
| ■ 薄型テレビ以外のものを載せないでください
本製品は薄型テレビを載せる専用ラックです。
その他のものや重いものを載せないでください。 | ■ テレビはテレビラックの中心に設置してください。
設置のバランスが悪いとテレビが倒れたりこわれたりして、けがをする恐れがあります。
※ 記載されている耐荷重を超える機器は載せないでください。 |
| ■ 高温・多湿の場所に置かないでください
直射日光やストーブの熱が直接あたる場所に置くと、変形・変色・そりなどの原因となります。 | ■ 手や指はさみにご注意ください
ガラス扉や可動部に手や指をはさみこまないようにしてください。けがをする恐れがあります。同様にテレビを設置する時にもご注意ください。 |
| ■ 移動・設置において <ul style="list-style-type: none">● 移動させるときは接続している機器を取り外してから行ってください。転倒してけがをする恐れがあります● 移動させた後に、ネジのゆるみ金具のガタツキがないか確認をしてください。ガタツキがあると変形・転倒をする原因となります。● キャスターで移動させる時はゆっくりと動かしてください。床面の段差がある所は持ち上げてゆっくりと動かしてください。フローリング床の表面がやわらかい場合、キャスターの移動跡が残る恐れがあります。 | ■ 放熱を妨げないでください
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。壁に押しつけないでください。(10cm以上の間隔をあける) |
| | ■ 固定用ネジ・チョウバンなどが緩んだまま使用しないでください
変形をしてテレビが倒れたり、機器が落ちたりしてけがをする恐れがあります。 |
| ■ 屋外や浴室など、水のかかるおそれのある場所には設置しないでください
さびや故障・変形の原因となります。 | |
| ■ 転倒防止の処置を行ってください
転倒防止の処置を行わないと、テレビが転倒しけがの原因となることがあります。必要に応じて市販の転倒防止金具をご使用ください。
* 付属している転倒防止ロープ(前面方向)は地震等の揺れに伴う転倒を最小限に食い止めるのが目的であり、万一お客様や家具等に障害が生じた場合、一切の損害に保証をお約束するものではありません | |

※製品の仕様は改善等の為、予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。

